

別居監護申立書

1 別居している児童について

支給対象児童名			
あなたとの関係		生年月日	年 月 日
別居先について	(住所) (世帯主) (世帯主と児童との関係)		
学校名及び就職先			
別居の理由			

2 監護している事実

該当する事項はすべて番号を○で囲んでください。

- ・毎月金品の仕送りをしている。
- ・毎月はしていないがときどき金品の仕送りをしている。
- ・子どもとの行き来、電話及び手紙での連絡等をしている。
- ・その他（上記以外に監護している事項があれば記入する。）

上記のとおり申し立てます。

年 月 日

住所
氏名

上記のとおり相違ないことを証明いたします。

年 月 日

学校長，寄宿舎の舎監，民生委員 住所
氏名

◎ ○○年○○月○○日は和暦で記入してください。（例：令和2年4月1日）

養育申立書

1 養育している児童

支給対象児童氏名	あなたとの関係	生年月日	養育開始年月日
		年 月 日	年 月 日
		年 月 日	年 月 日
		年 月 日	年 月 日

2 父母の状況

	氏名	住所	児童を監護しない理由
父			
母			

3 養育の状況

上記のとおり申し立てます。

年 月 日

住所
氏名

地区民生委員等の意見・証明欄

年 月 日

住所
氏名

住所要件に関する申立書

1 現に居住しているところの住所

2 住民票上の住所

3 現に居住しているところの世帯構成について

氏名	生年月日	続柄	居住している期間
	年 月 日	本人	年 月 日から
	年 月 日		年 月 日から
	年 月 日		年 月 日から
	年 月 日		年 月 日から
	年 月 日		年 月 日から
	年 月 日		年 月 日から

4 住民票を移せない理由（具体的に詳しく書いてください）

上記のとおり申し立てます。

年 月 日

請求者（受給者） 住所
氏名

地区民生委員等の意見・証明欄

年 月 日

母子生活支援施設の長，民生委員等 住所
氏名

◎ ○○年○○月○○日は和暦で記入してください。（例：令和2年4月1日）

養育費等に関する申告書

(表面)

※市区町村名 _____

※受付年月日 _____ 年 月 日

○ 前年（1月から12月までの1年間）に受け取った養育費について、裏面の記入要領に従って記入してください。

区 分	受取人	養育費の額	受 取 状 況
	母又は父・児童	円	
	母又は父・児童	円	
	母又は父・児童	円	
	母又は父・児童	円	
	母又は父・児童	円	
合 計	母又は父	円	
	児童	円	

上記のとおり相違ありません。

年 月 日

氏 名

(注) 1 上記の※欄は、市区町村担当者が記入するので、記入する必要はありません。

2 ○○年○○月○○日は和暦で記入してください。（例：令和2年4月1日）

(裏面)

養育費等に関する申告書の記入要領

1 この申告書の目的・趣旨

- この申告書は、前年に前夫又は前妻から養育費を受け取っているのかどうか、さらに受け取っている額を確認するためのものです。

2 養育費について

- 前夫（児童扶養手当の支給対象となっている児童の父。以下同じ。）又は前妻（児童扶養手当の支給対象となっている児童の母。以下同じ。）から前年（1月から12月までの1年間をいいます。ただし、**1月から9月までの間に請求する人の場合には、前々年をいいます。**）に、受給者（母若しくは父）又は児童が受け取った金品その他の経済的利益（以下「養育費」といいます。）がある場合には、その額を記入してください。
- 養育費は、児童扶養手当法施行令第3条により、児童扶養手当制度における所得となりますので、正確に申告してください。
- 養育費の合計額の欄に記入した額を、新規認定請求書の⑫の欄又は現況届⑮の欄に記載してください。
- 養育費として含まれるのは、具体的には別紙で定めるものです。
- 前夫又は前妻が複数あり、それぞれから養育費を受け取った場合には分けて記入してください。また、区分欄には区別できるように前夫又は前妻の名前等を記入してください。前夫又は前妻が1人の場合には、この区分欄は空欄で結構です。
- 受取状況欄には、次の例に従って記入してください。
例1 毎月5万円で12か月間受け取っている場合には、「月々5万円、12か月分」と記入してください。
例2 4月、8月、12月の3回に、それぞれ1万円、3万円、5万円を受け取っている場合には、「年3回 1万円、3万円、5万円」と記入してください。
例3 年に1回、4月に受け取っている場合には、「年1回、4月」と記入してください。

世帯分離に関する申立書

申立ての事由（事実を具体的に記入してください）

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

上記のとおり相違ありません。

年 月 日

氏 名

民生委員の意見・証明欄

.....

.....

.....

.....

年 月 日

地区民生委員 住 所

氏 名

- (注) 1 裏面にある「生計分離に関する申立書」も必ず記入してください。
- 2 〇〇年〇〇月〇〇日は和暦で記入してください。（例：令和2年4月1日）

生計分離に関する申立書

1 同居者の状況	(住民票が同じであるかどうかを問わず現に同居しているすべての者について記入してください。)			
	氏 名	続 柄	氏 名	続 柄
	1		6	
	2		7	
	3		8	
	4		9	
	5		10	
2 住居の状況	(該当するものを○で囲んでください。) 持ち家 実家 借家 アパート 公営住宅 社宅 その他 ()			
3 家屋の状況	(該当する記号を○で囲んでください。) <ul style="list-style-type: none"> ・ あなたの住まいは、同居人の家屋と ア 同じ棟である イ 別の棟である ・ あなたは、同居人が使用する台所と ア 同じである イ 別である (台所が2カ所) ・ 水道光熱費については ア 一括して支払っている イ それぞれ別々に支払っている (あなたが支払っていることがわかる書類例えば領収書を添付してください。) 			
4 生計維持方法 最近1か月当たりの収入支出の概算を記入してください	収 入		支 出	
	稼働収入	円	家賃	円
	養育費		食料費	
	親族の援助 (続柄:)		光熱水費	
	預貯金引出		そ の 他	
	その他			
5 医療保険の加入状況について	(該当する記号を○で囲んでください。) ア 同居者と同じ保険である イ それぞれ別々の保険である (保険証の写しを添付してください。)			
6 所得税法の扶養控除の状況について	(該当する記号を○で囲んでください。) <ul style="list-style-type: none"> ・ あなたは、ア 扶養控除対象者である 誰の扶養控除対象者ですか。 (氏名 続柄) イ 扶養控除対象者でない ウ 同居人の誰かを扶養控除に入れている (氏名) 			
	あなたの 子供は	ア 扶養控除対象者である 誰の扶養控除対象者ですか。 (氏名 続柄) イ 扶養控除対象者でない		
以下のとおり申し立てます。 年 月 日 受給者(請求者) 住所 氏 名				
受付年月日	年 月 日	市町村担当者	⑩	

(注) 1 裏面にある「世帯分離に関する申立書」も必ず記入してください。

2 ○○年○○月○○日は和暦で記入してください。(例：令和2年4月1日)

再認定請求遅延理由書

証書記号番号	鹿 児 第 号 鹿 児 扶 第 鹿 特	
再認定対象者 氏 名		
有期認定期限	年 月 まで	
再認定請求が 遅れた理由	※詳しく記入してください。	
上記のとおり申し立てます。 年 月 日 氏 名		
上記のとおり相違ありません。 年 月 日 市町村長 印		

◎ ○○年○○月○○日は和暦で記入してください。（例：令和2年4月1日）

児童扶養手当受給証明願
特別児童扶養手当

受給者 氏名 生年月日	年 月 日生	証書 記号 番号	鹿児島・鹿特・鹿児島 第 号
住 所			
証明を 必要と する理由			
<p>児童扶養手当法（昭和36年法律第238号） 上記のとおり、 特別児童扶養手当等の支給に関する法律（昭和39年法律第134号） に基づく受給者であることを証明願います。</p> <p>年 月 日</p> <p>氏名</p> <p>市町村長 殿</p>			

◎ ○○年○○月○○日は和暦で記入してください。（例：令和2年4月1日）